

骨にどのように働くのか？

口腔診断内科学教室



◆がんサバイバーも生き生きと活躍できる社会

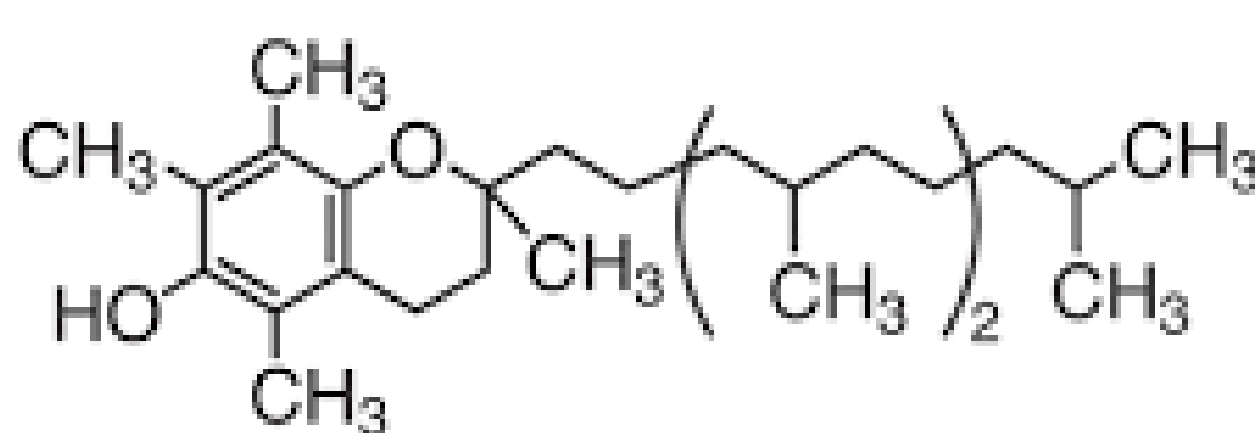
がん治療が終了し、数年以上経った後に発症することもある。



痛みや二オイ、食事や会話のしにくさ → QOLの低下↓

- ・なぜ発症するのか？原因やメカニズムが完全にわかっていない
- ・治療基準がなく、侵襲度が高い外科手術の実施が必要

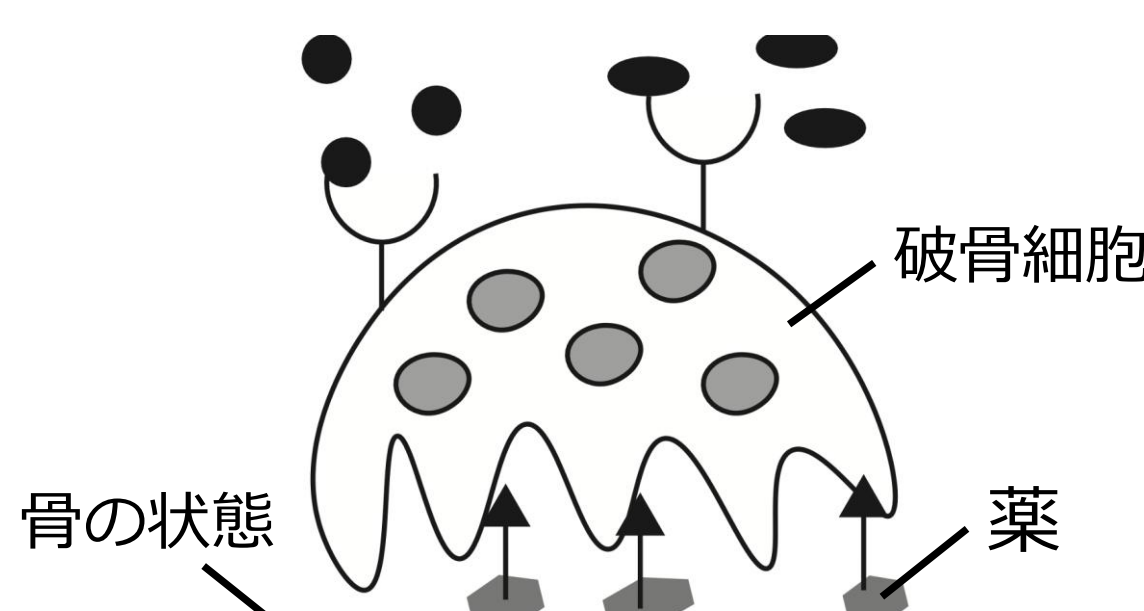
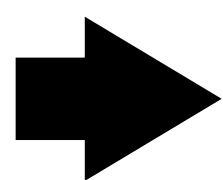
しかし、骨にどのような働きをするのかわかっていない。



トコフェロール（ビタミンE）



骨の構造や関係する細胞の解析



炎症や壊死を起こした骨や細胞への薬の影響を解明！

- ・患者さんの身体や経済的負担が少ない治療法の開発
- ・発症のメカニズム解明により、適切な予防法や治療基準の開発
- ・骨壊死治療後も食事や会話などのOOLを温存（**医科歯科連携**）

誰もが生き生きと活躍できる社会の実現！